

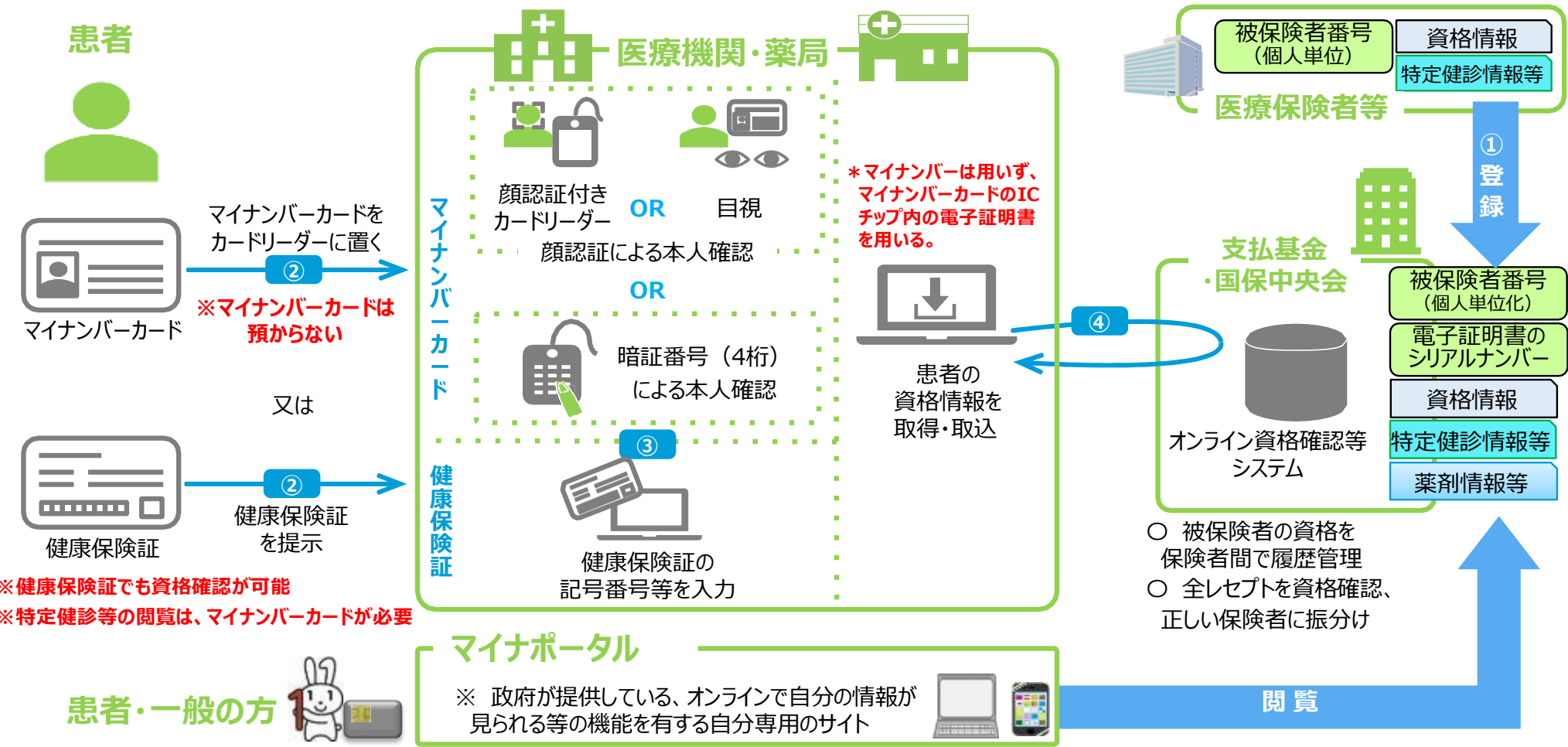
オンライン資格確認(マイナンバーカードの 健康保険証利用)の対応状況

令和3年12月1日

財務省主計局給与共済課

オンライン資格確認（マイナンバーカードの健康保険証利用）の概要

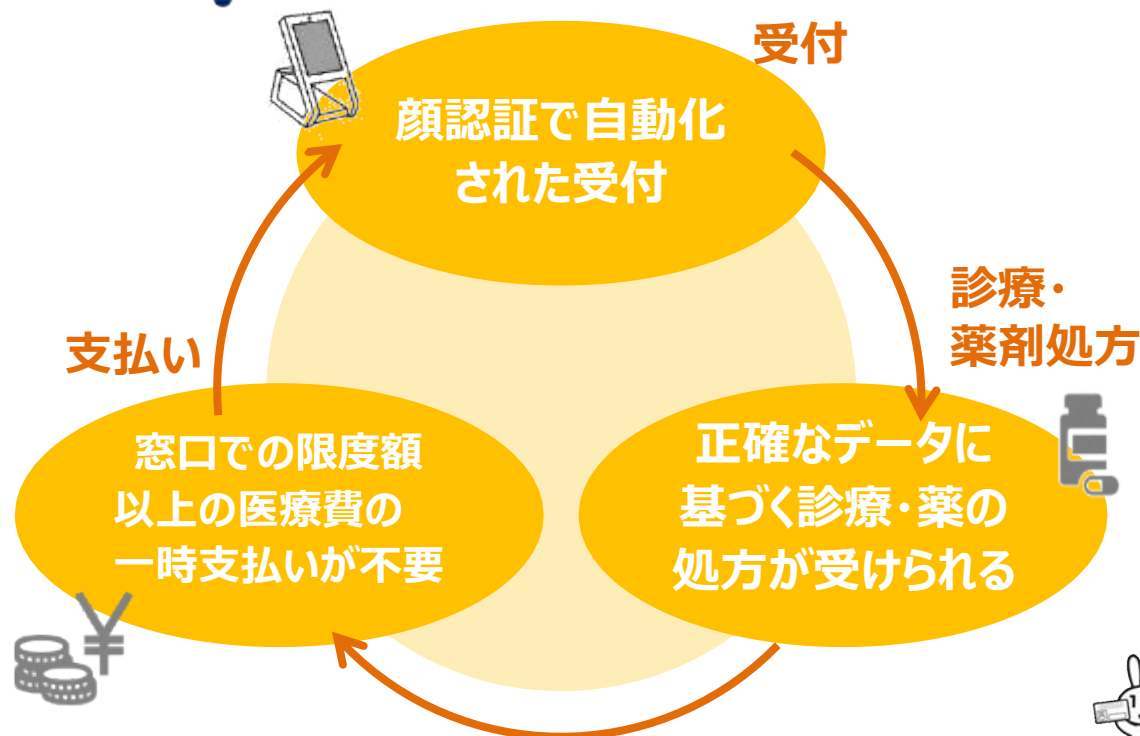
- オンライン資格確認とは、医療機関等の窓口でマイナンバーカードのICチップまたは健康保険証の記号番号等により、オンラインにて資格情報を確認する仕組み。
- メリットを享受するためには、医療保険者、医療機関等、被保険者それぞれの対応が必要。



オンライン資格確認導入によるメリット


- 医療保険者（共済組合）においては、資格過誤によるレセプト返戻作業の減少が期待できること、限度額適用認定証等の交付事務が不要になることといったメリットあり。
- 医療機関（K K R病院等）においては、窓口における資格確認事務の削減、患者の現状にあった投薬や診療を効率的に行うことができることといったメリットあり。
- 被保険者（共済組合員）のメリットは以下のとおり。

 いつもの通院等が便利に！



 こんなところも簡単・便利に！

特定健診や薬の情報をマイナポータルで閲覧できる

マイナポータルからe-Taxに連携し、確定申告が簡単に 

健康保険証としてずっと使える 

国家公務員共済組合等における対応状況

共済組合（医療保険者）

- 新規資格取得（採用、他府省からの異動等）、保険者の変更（本省から地方機関への異動等）に際して、速やかに組合員の資格情報、特定検診情報等を、社会保険診療報酬支払基金のオンライン資格確認等システムに登録する必要。

！ 令和4年10月の短時間勤務職員への国共済短期給付の適用拡大に際しては、30万人超の新規資格取得が見込まれている。

KKR病院等（保険医療機関）

- 顔認証付きカードリーダーを導入し、院内システム等と連携（システム改修）する必要。
 - 「2023年3月までに概ね全ての医療機関及び薬局にシステムの導入を目指す」（成長戦略F U（令和2年7月17日閣議決定））

	顔認証付きカードリーダー申込数	運用開始
KKR病院	32病院/32病院（100.0%）	21病院/32病院（65.6%）
全国の病院	6,391病院/8,230病院（77.7%）	1,406病院/8,230病院（17.1%）

※令和3年11月21日現在

※KKR病院は、令和5年（2023年）3月までに全ての病院で運用開始予定。

※各府省の庁舎内診療所は、組合員（国家公務員等）の利用を前提としていること等から、ほとんどが保健医療機関の指定を受けておらず、現在、顔認証付きカードリーダーを導入している診療所はない。

共済組合員（被保険者）

- 初回登録（マイナンバーカードの健康保険証利用の申込）をする必要。（生涯1回のみ）

	加入者数	申込件数	申込み率
国家公務員共済組合	1,798,313人	129,538人	7.2%
医療保険制度全体	122,772,662人	5,960,109人	4.9%

※令和3年11月21日現在

初回登録は、①マイナポータル、②セブン銀行ATM、③保健医療機関に設置された顔認証付きカードリーダーで申し込めますが、③は保険医療機関窓口で時間を要するため、事前に①②での申込みを推奨。